

マニラ首都圏における 強盗被害の連続発生について

2025年5月12日
在フィリピン日本国大使館

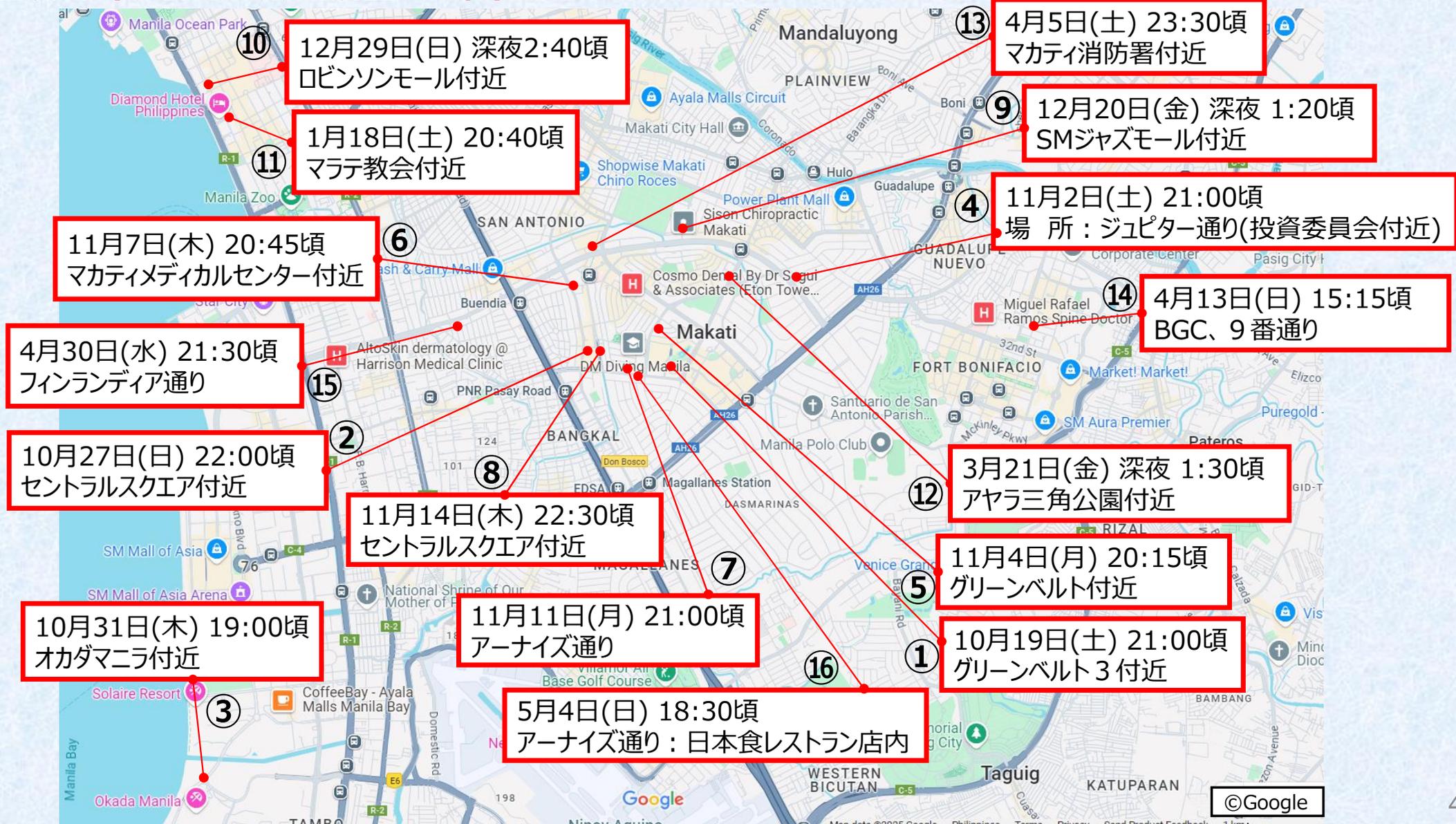
1 最近(昨年10月以降)の邦人が強盗被害に遭った事例(大使館が認知した全16件)

【ポイント】 主に夜間、繁華街の路上のみならずレストラン内においても、拳銃様のものを用いた強盗に遭遇。

	日時	場所	被害者	被疑者	事件概要
①	10月19日(土) 21:00頃	マカティ市 グリーンベルト3付近	男性2名	3人組 バイク(2~3台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
②	10月27日(日) 22:00頃	マカティ市 セントラルスクエア付近	男性1名	5人組 バイク(3台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
③	10月31日(木) 19:00頃	パラニャーケ市 オカダマニラホテル付近	男女各1名	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃様のもののグリップ部分で被害者の手を殴打、鞆を強奪。
④	11月 2日(土) 21:00頃	マカティ市 比国投資委員会付近	男性1名 (※韓国人1名が 同行)	5~6人組 バイク(2~3台)	被疑者が拳銃様のもの韓国男性の頭を殴打、日本人から鞆を強奪。
⑤	11月 4日(月) 20:15頃	マカティ市 グリーンベルト付近	男性1名	3人組 バイク(2台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑥	11月 7日(木) 20:45頃	マカティ市 マカティ メディカルセンター付近	男性2名	3人組 バイク(2~3台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑦	11月11日(月) 21:00頃	マカティ市 アーナイズ通り	男性5名	4人組 バイク(2台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑧	11月14日(木) 22:30頃	マカティ市 セントラルスクエア付近	男性2名	5人組 バイク(2~3台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、ネックレスを引きちぎり強奪。

	日時	場所	被害者	被疑者	事件概要
⑨	12月20日(金) 深夜1:20頃	マカティ市 SMジャズモール付近	男性1名 (※フィリピン人 1名が同行)	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑩	12月29日(日) 深夜2:40頃	マニラ市マビニ通り ロビンソンモール付近	男性2名	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃を被害者に発砲し、鞆を強奪。
⑪	1月18日(土) 20:40頃	マニラ市デルピラル通り マラテ教会付近	男性1名	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑫	3月21日(金) 深夜1:30頃	マカティ市 アヤラ三角公園付近	男性2名	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃様のものので被害者の腹部を殴打し、鞆を強奪。
⑬	4月5日(土) 23:30頃	マカティ市 マカティ消防署付近	男性1名	4人組 バイク(2台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑭	4月13日(日) 15:15頃	タギグ市BGC 9番通り路上	男性2名	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃様のものを被害者に突きつけ、鞆を強奪。
⑮	4月30日(水) 21:30頃	マカティ市 フィンランディア通り(ポ ルタ通り角)	男性1名	2人組 バイク(1台)	被疑者が拳銃を被害者に発砲し、鞆を強奪。
⑯	5月4日(日) 18:30頃	マカティ市 アーナイズ通りの日本食 レストラン店内	顧客複数名	2人組	被疑者が拳銃様のものを被害者に見せつけ、被害者の財布やスマートフォンを強奪。

発生現場 (大使館が認知した全16件)



2 最近のフィリピンにおける犯罪発生状況

○フィリピン国家警察本部の統計(被害届ベース)によれば、犯罪認知件数(軽犯罪を含む)は、フィリピン全土で2016年は約33.7万件であったが、年々減少し、2024年は約20万件となっている。

○マニラ首都圏南部方面警察によれば、マニラ首都圏南部方面(※)において、2024年1月～11月20日迄に、日本人以外の外国人が被害にあった強盗事件の認知件数(被害者国籍別)は次のとおり。
中国(9件)、韓国(3件)、ベトナム(2件)、カナダ(1件)

(※)マカティ、タギグ、パサイ、パラニャーケ、ラスピニャス、ムンテルパ及びパテロスの7市

3 従来にも増して一層御注意いただきたいこと

(日本外務省 海外安全情報(5/9付スポット情報)より抜粋)

【ポイント】

- 犯行の背景は不明ですが、外国人（日本人を含む）をターゲットとしている可能性があります。
- フィリピンでは、日本と異なり、許可を得れば一般人でも銃の所持・携行が認められているほか、未登録の銃器や密造銃も広く出回っており、銃器を用いた犯罪が多発しています。
- 強盗に遭った際には、身の安全を第一に考え、絶対に抵抗しないでください。

【本文】

●とりわけマニラ首都圏においては、次の諸点に一層御注意ください。

- (1) 最近の日本人が被害者となった強盗事案の多くが夜間に発生していることも踏まえ、特に夜間の徒歩移動はなるべく控え、近距離であっても車両で移動してください。仮にタクシーを利用する場合には、流しのタクシーは利用せず、ドライバーの特定やオンラインでの追跡が可能な配車サービスの利用を検討ください。
- (2) 徒歩で移動する際には、車と対向する側の歩道を選択し、できるだけ車道から離れた位置を歩いてください。
- (3) バッグ等は車道と反対側に持つか、身体の正面で持つようにしてください。
- (4) 2人乗りのバイクによる犯行が多いことから、接近してくるバイクや不自然に停車しているバイクに警戒してください。
- (5) ATM等で現金を引き出す際は、ショッピングモール内や警備員が配置されている場所を利用してください。
- (6) レストランやショッピングに行かれる際にも極力警備員が配置されている場所を利用してください。
- (7) 多額の現金、パスポート等の貴重品は、必要がない限り持ち歩かないでください（パスポートはコピーの携行を推奨）。やむを得ず貴重品を携行する際には、1つのバッグに入れず分散して携行し、特に財布と携帯電話は別々に持つようにしてください。

●**強盗に遭った際には、絶対に抵抗せず、**生命と身体の安全を最優先に考え、落ち着いて行動してください。例えば金品の要求に応じようとポケットやバッグに急いで手を伸ばすと、反撃すると誤解され攻撃される可能性もあるので、身体を動かすことなく「ポケットに入っている」などと口頭にて説明するか、指だけで差し示して犯人に取らせるようにしてください。

また、犯人の逃走後など安全な状況となり次第、速やかに警察へ報告ください（電話の場合「911」：日本の110番／119番に相当）。最寄りのレストランや商店に逃げ込み、警察を呼ぶことも一案です。

困った際には、在フィリピン日本国大使館までお電話ください。

○邦人援護ホットライン：+63-2-8551-5786

4 参考

●海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え在留届を大使館に必ず提出してください。

(詳細は <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html> 参照)

また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。

(詳細は <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html> 参照)

●次の各資料も参考としてください。

(1) 海外安全ホームページ (安全対策基礎データ : フィリピン)

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_013.html

(2) 安全の手引き (フィリピン)

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/philippines_manual.html

(3) 海外安全虎の巻～海外旅行のトラブル回避マニュアル～ (PDF)

<https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

(4) ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話（代表）：（国番号81）3-3580-3311（内線）2902、2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く）

電話（代表）：（国番号81）3-3580-3311（内線）5139

○外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連）

電話（代表）：（国番号81）3-3580-3311（内線）3047

○外務省 海外安全ホームページ：

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

○在フィリピン日本国大使館

住所：2627 Roxas Boulevard, Pasay City, Metro Manila, Philippines

電話（代表）：02-8551-5710

邦人援護ホットライン：02-8551-5786

FAX：02-8551-5780

メール：ryoji@ma.mofa.go.jp

ホームページ：https://www.ph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html